



小郡市立小郡中学校 令和6年5月1日

小郡中学校だより 第206号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

第45回体育大会の成功に向けて動き始めました

5月になり、新緑のすがすがしい季節がやってきました。これからの季節、若葉が濃い緑に育つように、生徒のみなさんも大きく大きく成長してくれることを願っています。

さて、昨年度までは9月に体育大会を行っていましたが、天候が安定していること(熱中症リスクを下げるため)、2学期に行事が集中するのを避けるため、北校舎長寿命化改良工事やグラウンド貯留施設工事が行われる等の理由により、5月19日(日)に体育大会を実施することにしました。体育大会実行委員やブロックリーダーのみなさんは、とまどいもあると思いますが、ぜひリーダーシップを発揮し、素晴らしい体育大会にしてほしいと思っています。

4月25日(木)には体育大会オリエンテーションが行われ、スローガン『主役 ～輝くのは私たち～』が伝えられました。練習時間も少ない中で、自分も友だちも、先輩も後輩もみんなかけがえのない大切なひとりであり、その一人ひとりが輝き、全員で最高の喜びを分かち合おうという思いが込められたスローガンです。「やり遂げた」「団結できた」という達成感や満足感は、人にやらされていても得られません。自分から行動することが大切になってくるのです。フォロアーのみなさんは、自分たちがどう行動すればリーダーを盛り立て、ブロックや学級そして小郡中学校のまとまりをつくっていかれるかを常に考えながら、とりくんでほしいと思います。最高の喜びや感動は、一人ひとりのとりくむ姿勢(自分から動く、やるぞ!という気持ち)こそが鍵となるのです。



体育大会オリエンテーション

体育大会ブロック割

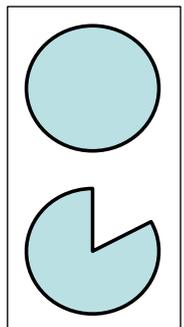
ブロック色	赤	青	白	黄
所属学級	3年4組 2年3組 1年1組	3年2組 2年2組 1年2組	3年1組 1年3組	3年3組 2年1組



『美点凝視』の心で『共に成長する』小郡中の生徒に

仲間とつながる秘訣

ある心理学者の話ですが、右図のような丸い図形と丸いものが少しだけ欠けた図形があります。この2つの図形を見て、どこに一番目がいけますか?という質問をすると、大半の人がその丸の欠けた部分に目いくのだそうです。その心理学者は、「人が人を見るときにも全く同じ見方をしている。つまり、人を見るときには、相手の欠点ばかりに目いくのである」と言っています。日常生活の中でも「あの人はここを改善すればよいのに…」など、人の欠点はいくらでも気がつくと思いませんか。でも、それでは自分も相手も成長できないように思います。だからこそ、『美点凝視』が大切です。『美点凝視』とは、相手のよいところに目を向けるというこ



とであり、積極的に相手のよい点を見いだすということです。私たち人間は、誰も長所があれば、短所もあります。特に長所・美点というのは凝視しなないとなかなか見えるものではありません。軽視ではなく、凝視…心の眼をこらしてじっと見つめなければならないのです。欠点ばかりを指摘されていたのでは、うまく人間関係が成立しないことはすべての人が知っていることです。相手が自分自身で気づいていない美点を探し、それを口にしていくことは、よりよい人間関係を築き、相手のよいところに学び、共に成長していくことにつながっていくのです。相手に対する思いやりを忘れずに、相手の美点を賞賛し、祝福し、感謝し、激励するといった肯定語をたくさん使ってほしいと思うのです。人は、肯定語を耳にすれば心が前向きになり、明るくなっていきます。これは誰も経験があるのではないのでしょうか。



人と相対したとき、「美点」から先に見るクセがあるのか、「欠点」から先に見るクセがあるのかで、人間関係は大きく変わってきます。人の気づかないような美点を、いち早く見いだせるような、そんな眼や耳、感性をもった『美点凝視』を心がける人になりたいものです。

普通救命講習会〈1年生〉を実施しました

4月24日(水)に「普通救命講習会」を実施しました。「身のまわりにいる人に危機が生じた場面に遭遇したときに、人命の尊重を最優先に考え、迅速かつ冷静に対応するための適応力を身につけること、この講習を通して、自分の身は自分で守るための行動を考える機会にする」ことを目的にしており、毎年、入学してすぐの1年生が講習を受けています。久留米広域消防本部三井消防署の方に来ていただき、「心肺蘇生法」と「AED講習」を受けました。この2つは、「一次救命措置」と言われ、救急車が来るまでの間にこの処置が適切に行われるか否かで、生存率が2倍以上も違うと言われています。生徒のみなさんは、人形模型を使いながら命の大切さと命を守る学習に真剣に取り組んでいました。



スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの紹介

本年度は、()先生がスクールカウンセラーとしてお見えになります。〈すでにスクールカウンセラー便りも配布されています〉基本的には毎週火曜日となります。予約等については、担任かサポート教室担当の山内まで連絡をお願いします。生徒のみなさんはもちろん、保護者のみなさま方も悩みの大小に関係なく、相談してください。



また、スクールソーシャルワーカーは()さんです。スクールソーシャルワーカーは、学校内外の関係機関と連携を取りながら生徒のみなさんの生活を福祉の観点で支援をしていただく方です。



小郡市立小郡中学校 令和6年5月7日

小郡中学校だより 第207号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

〈行動なくして成功なし〉 まず、最初の一步を踏み出しましょう！

新学期がスタートし、1か月が過ぎようとしています。学級は今、どんな感じですか？何事も前向きな気持ちでとりくんでいますか？体育大会に向けてのとりくみも進んでいますが、昨日の学級・自分よりも少しでも、ほんの少しでも前に進んでもらいたいと思っています。

さて、今号ではアーチェリー選手だったF選手のことを伝えたいと思います。



アーチェリー選手だったF選手が出場したオリンピックの最終選考会は、記録的な豪雨の中で開催された。生き残りをかけた最後のショット。F選手の眼鏡に雨のしぶきがかかり、何度も狙いを定め直さなければならなくなった。残り数秒となって狙いが定まらないまま放った矢は大きく的はずれ、落選。F選手はタオルに顔を埋めて泣いた。しばらくして立ち上がると、雨がやまぬ中、F選手は関係者一人ひとりに頭を下げて回った。落選直後にF選手が見せたのは、最悪の状況で競技をさせられた恨みではなく、過酷な天候下で大会を運営してくれた裏方への感謝だった。そのF選手が敗北の翌日から対策に動く。それは、ツバの長い帽子を買い、練習からもかぶるという極めてシンプルなことだった。どんな雨でも眼鏡がぬれないような対策をしたのだ。その後の大会でF選手がオリンピックの切符を手にしたとき、協会関係者は心からF選手を祝福した。

〈行動なくして成功なし〉「できる方法」を考える前に「できない理由」を探していませんか？やらない理由を正当化していませんか？自分の中で「やる」とすでに答えを出しているにもかかわらず、一步を踏み出すのに躊躇していませんか？



私たちは、時間がないからできないとか、疲れているからできないとか、自分の能力を超えているからできない…などなど、つつい易きについてしまいがちです。

しかし、「できない理由」ではなく「やらなければならない理由」を再確認し、「できる方法」を工夫しながら、強い気持ちで行動しないことには、何事もなし得ないということにも私たちは気づいているはず。行動すると、失敗は増えます。でも、成功も増えます。小さな成功体験を積み上げることで、大きな自信につなげることができます。キング牧師もTake the first step in faith. You don't have to see the whole staircase, just take the first step. [疑わずに最初の一段を上りなさい。階段のすべてが見えなくてもいい。とにかく、最初の一步を踏み出すのです。]という言葉を残しています。自分で決めたことは、まず最初の一步の一步を踏み出す、とにかく実践！を心がけていきたいものです。

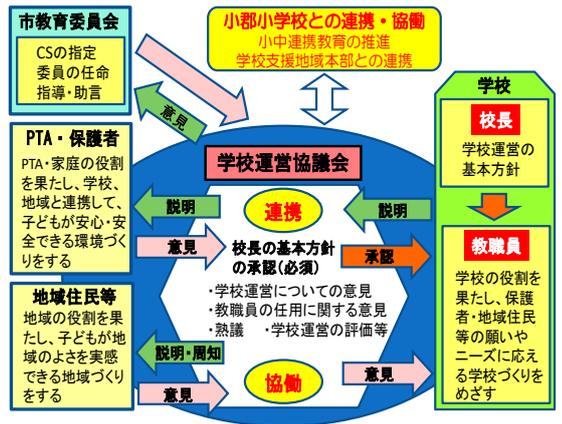
本年度も『コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）』を導入します

令和元年度から小郡市教育委員会が作成した「小郡市学校運営協議会規則」に則って、本校は『コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)』を導入しています。

保護者や地域住民が合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任をもって学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現をめざすという、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくりの仕組みとして制度化されています。

なお、「小郡市学校運営協議会規則」及び本校本年度の「コミュニティ・スクール推進計画(目的、年間計画等)」は小郡中ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。また、学校運営協議会で協議・熟議された重要な内容は学校だより等でお伝えします。

コミュニティ・スクールの組織・関連図



『ふるさとクリーン活動』を実施しました ご協力ありがとうございました

4月27日(土)の土曜授業で「ふるさとクリーン活動」を行いました。この活動は平成10年から実施している小郡中学校の恒例行事です。校区の一人ひとりが安心して暮らせる『まち』になることをめざして、生徒たちの活動を主体的としながら、人となりのつながりをさらに強いものにしていくこと、すなわち清掃活動だけが目的ではなく、地域の方々との交流を深めつながっていくということを目的にしています。

今年も各地域の区長さんをはじめ、たくさんの地域の方々や保護者のみなさまに参加していただきました。本当にありがとうございました。生徒のみなさんは積極的に清掃活動にとりくめたでしょうか。地域の方々と会話ができたでしょうか。今後も地域行事等に積極的に参加し、地域の活性化に貢献してほしいと思っています。参加していただいたみなさまの感想を一部紹介します。

- 今年も母校に関わられて嬉しかったです。もっと会話ができればよかったです。
- 大変よい活動だと思います。子どもたちが黙々とがんばってくれて嬉しく思いました。
- 素直でよい子どもたちで安心しました。声が小さいので、もっと元気を出してください。
- 座談会が中心となりましたが、いい交流ができました。気分も若くなりました。



〈人権を考える日〉5月2日(木)人権学習をしました

本校では「自分や周りの人の人権について考え、ともによりよい生活を送るためには、どうすればよいのかを考える日」〈人権を考える日〉を設定し、人権学習を行っています。5月は、2日(木)を人権を考える日とし、1限目に人権学習を行いました。

全学級ともに、めあてを「日本国憲法を自分たちの生活に活かそう」とし、『国民主権』『基本的人権の尊重』『平和主義』の三つの柱(原則)を確認しながら、自分や自分たちの生活に目を向けました。生徒のみなさんは、自分ごととして学習すめることができたでしょうか。生徒のみなさんには、「自分を大切にできる、それと同じように他人を大切にできる」「こうしてほしいと考えを伝えることができる」など具体的な行動を身につけてほしいと思っています。「知っておくだけ」ではなく、「行動すること」が大切なのです。ぜひ、人権学習で学んだことを自分の生活に活かしてください。





小郡市立小郡中学校

令和6年5月22日



小郡中学校だより

第208号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

自分たちの手で作った第45回体育大会！

主役～輝くのは私たち～

絶好のスポーツ日和となった5月19日(日)に第45回小郡中体育大会を開催しました。たくさんのご来賓、保護者や地域の方々に見守られる中、4人のブロック長による堂々とした選手宣誓で幕が開き、一人ひとりが全力を尽くしてがんばる姿が終始見られ、笑顔あふれる体育大会となりました。

この体育大会に向けての準備や練習の時間は短く、しかも25年ぶりの5月開催ということで、戸惑いもあったと思いますが、生徒のみなさんのすばらしい団結力と集中力でリーダーを中心に、体育大会のスローガン『主役～輝くのは私たち～』を意識した、見事な体育大会を自分たちの手で作ってくれたことをうれしく思います。勝敗はつきましたが、最後まであきらめずに一生懸命に競技・演技する姿は、勝敗に関わらず、どれも美しく、見ている私たちも心が躍りました。

特に体育大会の見所は、オゴ中伝統のブロック演舞〈ソーラン節〉です。ブロック長やブロックリーダーを中心に、どのブロックも創意工夫を凝らした演技を披露してくれ、短期間でよくぞここので仕上げたものだと感心しました。毎年このブロック演舞に懸ける各ブロックの思いは熱く、心中期するものがあつたと思いますが、今年も一体感や連動性、場面転換、隊形の工夫など、気持ちが込められたブロック演舞でした。これまで粘り強くとりくんできた各ブロックのリーダーのみなさんに敬意を表したいと思います。



ブロック長による選手宣誓

体育大会総合成績結果	
総合優勝	青ブロック(1-2,2-2,3-2)

体育大会学年別成績(優勝学級)		
1年生	2年生	3年生
1年2組(青)	2年2組(青)	3年3組(黄)

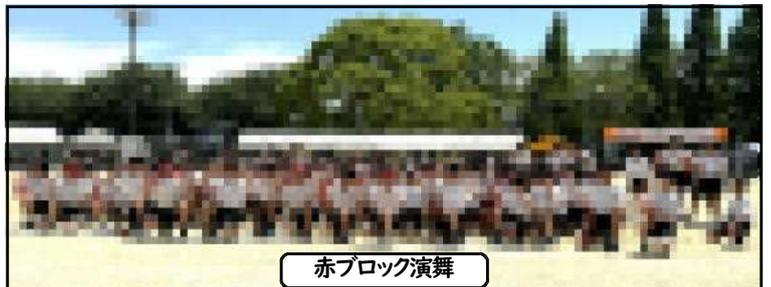
体育大会ブロック演舞結果	
最優秀賞	青ブロック(1-2,2-2,3-2) 黄ブロック(2-1,3-3)



最優秀賞の青ブロック演舞



最優秀賞の黄ブロック演舞



赤ブロック演舞



白ブロック演舞

このようにブロック演舞をはじめ、様々な演技や応援を通して、協力することの心地よさ、集団の可能性の大きなことを学んだことでしょう。また、体育大会を終えて、充実感・満足感を味わい、やれやれという自信をもった人も多かったのではないのでしょうか。これもまた、体育大会実行委員長を中心とした拡大実行委員のみなさんが積極的に動いてくれたからだと思えます。本当にありがとうございます。私は、体育大会は個人のがんばりもさることながら、「集団の美」の表現・競演が神髄だと思っています。また、「一人ひとりには微力かもしれないが、無力ではない。それどころか集団の力が結集されれば大きな力になり、大きな感動を与えてくれる」ということも再認識させられた体育大会でした。この体育大会を契機とし、学級内に、あるいは学年・学校内に芽生えたよい雰囲気、よい流れ、よい勢いを生かして今後も大きく成長するであろうみなさんの姿をたのしみにしています。

ご来賓の方々をはじめ、地域・保護者のみなさまには、早朝よりご臨席を賜り、誠にありがとうございました。みなさまのご声援はあたたかく、生徒たちも心強く感じたことでしょう。生徒たちががんばりや成長をぜひ誉めていただきたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。ご来賓のみなさまからいただいた感想の一部を紹介します。



1年競遊

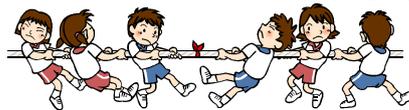


2年競遊



3年競遊

- 自分たちでつくりあげようという気持ちが伝わり、すばらしい体育大会でした。
- 生徒と先生方が一体となって、関係が本当にあたたかく、たのしそうでした。
- 生徒さんたちの笑顔がたくさん見られ、競技・演技する姿からは成長を感じました。
- 子どもたちが元気いっぱいに育っている姿に、こちらも元気をいただきました。



教育実習生の紹介

5月21日(火)から3週間、2名の教育実習生が先生になるために本校で勉強をすることになりましたので、紹介いたします。教育実習生には、この3週間の中で教育のたのしさや大切さを学んでいただきたいと思います。短い期間ですが、しっかりがんばってください。

先生〈担当学級：3-1、教科：社会〉
大学から参りました。と申します。

担当教科は社会でクラスは3年1組にお世話になります。今年の1月に中型のバイクを購入して、最近では友達とツーリングに行くようになりました。たくさんの思い出のある小郡中学校に戻ってこられて嬉しいです。生徒のみなさんと素敵な時間を過ごせるよう、一生懸命頑張ります。3週間、よろしくお願いいたします。



左：先生、右：先生
3週間、よろしくお願いいたします！

先生〈担当学級：3-3、教科：音楽〉
大学の先生です。実習教科は音楽です。短い期間ではありますが、音楽の授業だけでなく、日常の学校生活でも生徒のみなさんと関わり、学びの多い3週間になるように精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。